

2024年度駿河台キャンパス環境展 SDGsツアー記録

今回のSDGsツアーは、12月11日(水)、12日(木)に開催しました。

各日先着16名の募集をしたところ、当日の欠席者5名を除く計24名の学生さんがSDGsツアーに参加しました。

当日は、地下3階(中水処理システム・中央監視室)→1163教室(換気窓)→18階(自然換気システム)→屋上(屋上の環境設備)の順で、リバティタワーの環境に配慮された施設の見学を行いました。

見学の様子を写真とともにご報告いたします。

【中水処理システム】

上水として手洗い場や厨房のお皿洗い等で使用された下水が、再利用水の中水に浄化される様子を見学しました。



【中央監視室】

中央監視室では、駿河台キャンパスの空調・温度が、リアルタイムでモニターに表示される様子を見学しました。



【教室換気窓】

夏場のピークカットを図るための換気窓です。中央監視室からの遠隔自動操作が可能であり、自然換気と空調機のハイブリッド空調制御で効率的に省エネルギーを行うことができます。



【18階自然換気システム 風穴】

各階に設置されている自動開閉窓から取り込まれた空気はエスカレーターの部分を上昇します。換気窓が開くことで、館内のこもった空気が上昇気流によって排出されるような仕組みになっています。各所のフロア図にも18階の欄には何も記載されておらず、普段立ち入ることのできない、環境に特化されたフロアになっています。



【屋上】

屋上では、感雨器や全天日射計など天候状況を把握できる設備について説明がありました。ツアー参加者で記念写真を撮影しました。このツアーに参加した人しか立ち入ることのできない、リバティタワーの屋上は、2日間とも天候に恵まれて絶景でした！



↑ SDGsクイズの様子です。クイズに正解すると景品ゲット！

～参加者の感想～

知らないところを知れて学びになった
普段入れない空間や生活しているなかで知らないサービスが行われていることがわかり、新鮮だった。
普段は見られない設備を見ることができ、面白かった。地下に自前の水の処理施設があり、さらに地下深くに水が貯まっていると知り、驚いた。私たちが利用している資源が、環境に配慮されたものだとは知ることができた。自分自身も電気をこまめに消すとか分別をきちんとするなどの形でSDGsに貢献していきたいと思った。
普段行くことができない場所に特別に行かせていただいたり、普通に大学生生活を過ごしていただけでは知ることができない明治大学の環境への取り組みについて学べたりと非常に有意義でした。特に、空調システムの存在を知っているだけで仕組みは知らなかったのが、身近なところにあることに驚きでした。また職員の方ともお話ができてよかったです。ありがとうございました。
とても充実した時間を過ごしました！普段で学校の見えない部分を見れて面白かったです。職員さんはとても親切で、説明も丁寧でわかりやすかったです。似たようなイベントがありましたら、是非参加したいと思います。ありがとうございました！
職員の方に詳しく面白く解説いただいたために明治大学のSDGsへの取り組みがよく理解出来ました。ありがとうございました。
開けたり入ったりしてはならない設備を開けたり入ったりするたびに生きてる実感が湧いた。SDGsという観点からは、安心した。教育機関などで順当に環境問題に触れてきた人なら誰でも、「個人の努力より法人の努力が有効」という事実と「法人は拝金主義で環境のことなどお構いなしなんじゃないか」という心配の板挟みになっているものである。だから、学校法人明治大学があの手この手で資源の節約を試みている姿が尊いと思った。
ありがとうございました！
なかなか普段立ち入ることのできない場所ばかりをめぐりましたが、とりわけ、地下3階の中央監視室はまさにリバティタワーの「心臓部」とも言える部分でもあり、中に入ってみるとすごく迫力がありました。かなりのものであったので、一瞬、「これを(学生や職員たちへとはいえ)公開していいものなのだろうか」と思い、多少心配してしまいました。しかし、調べてみるとどうもこのツアーは毎年行われているものなのだとわかり、大いに安堵しました。その他にも、18階や屋上も見学することができました。換気システムも緻密に設計されており、面白く感じました。屋上では、風速計などの観測機器も見ることができました。風は強かったですが、東京の街を一望できる場所でした。やはり、これだけの規模の大学だと、一言で「環境に配慮する」といっても、(当然といえば当然なのかもしれませんが)我々一般人の家等とは違い、たくさんの工夫を凝らして仕組みを作り、そしてそれを動かす人達が必要である、ということなのでしょう。今回、はじめて参加しましたが、そのようなことがよくわかりました。まさに「明治大学ならではのSDGs」だといえると思います。今回のツアーは、明治大学がどのような工夫をして環境に配慮したキャンパス運営を行っているのかということと、リバティタワーがそもそもどういった建物の構造となっているのかということを知ることができたという意味で、非常に面白かったです。また、少しずつでもいいので、学生の皆さんにこのような大学側の取り組みがもっと周知されると、関心を持ってくれる人がさらに増え、いいのではないかと思います。機会があれば、このようなイベントにまた参加したいと思います。長々と書いてしまいましたが、スタッフの皆様、ありがとうございました。

まず、屋上からの景色がとても良く、今回入る貴重な機会をいただけて最高でした。いただいたグッズもかわいいものが多くて嬉しいです。また、ところどころにクイズを出していただいてより理解が深まりました。ありがとうございました。

普段何気なく授業を受けているリバティタワーの構造が、換気システムなど、環境に配慮したものになっているということが新たな発見であった。これから授業を受ける時に意識したい。また、普段は入れない場所も見学でき、リバティタワーの新たな一面を見たようで、とても良い経験ができた。

普段見られない環境に配慮したビルのシステムを見ることができて、大変興味深かったです。

普段立ち入れないとこの見学をさせていただき大変勉強になりました。都会の大きな建物は一見SDGsに配慮していないようにみえますが、空調や水など建物に様々な工夫をされており、学びの場としての責任を果たしていると感じました。

普段入ることが出来ないリバティタワーの裏側に入り、SDGsの取り組みについて知ることが出来て良い経験になった。

普段なかなか入ることのできない場所を見学でき、貴重な経験になりました！リバティタワーの環境に配慮した様々の工夫を知ることができました。リバティタワーの屋上からの景色も綺麗で印象的です。次回は生田キャンパスでのツアーに参加したいです！

普段意識していない所が環境に配慮されていると知り、今回のツアーで意識するようになりました。クイズ形式だと覚えやすくて良かったです。屋上や18階に行く機会なんてないと思うので貴重な体験ができました！ありがとうございました。

普段気にしない構造を気にするいい機会になった。スタッフが面白かった。

以上